

六
クノイスト氏英國行政法論財政部

グティスト氏英國行政法論財政ノ部

第八十二章 國王ノ經常及臨時收入

甲 第一 官有物地、山林及王室財產

グティスト氏ハ其書中一篇中三章ニ於テ

英國ノ經常及臨時收入ノ類別ヲ基礎トシテ英

國財政法ヲ論述シタリ

一 經常收入ヲ分ツテ教政ノ二種トス 僧正ヲ欠

キタル僧正領地ノ所得 講法師ヲ欠キタル

講法師ノ初穂及年具及尔余ノ諸收入ニ

テ他ニ之ヲ慶多ク得可キ者ハ僧侶的ハ收

入ニ屬シドメー子ニ山林世襲酒稅ハ性時
ニ行ハレタルモノニシテ當時ハ之ヲ廢ス裁判
手数料賠償金罰金貴金屬特收獲相續者ヲ
欠キタル地所及其他ノ收入ヲ併セ都令十
四目ハ政治的ノ收入ニ屬ス
ニ臨時收入ハ國會ノ承諾ニタル一年限ト永久
トノ兩補脚金ヨリ成ル旧時ノ地租及釀酒稅
ハ毎年國會ノ承諾ヲ要シ關稅消費稅塩稅郵
便稅印稅家屋及窓戶稅乘馬稅及俸祿稅ハ永
久ニ國會ノ承諾ニタル收入ナリ

右ブラウツクストン氏ノ説クトヨロハ百年後ノ
今日ニ至リテハ國ヨリ實際ニ適用ス可クナル
者少カラクト虽此苟モ英國法ヲ論述セント欲
スル者ハ又氏ノ類別法ヲ根據トセザル可クハ
今我獨ニ於ケル國家理財ノ沿革ヲ見ルモ其
發達ノ跡大ニ英國ト相類ニ國家ノ收入ハ又君
主財產及諸稅ノ二種ニ帰着スヘシ
一君主財產トハ王室財產(王領地及山林)帝國ヨ
リ附与ニタル諸種ノ特收權裁判權ニ基ク所
得等ヨリ成リ國君ニ屬スル者ニシテ毫モ國
六〇二

會ノ承諾及管理ヲ受クヘキ義務ナシト雖モ
又國費ヲ負担スルノ義務アリ

二 諸税ヨリ成ル收入ハ元ト國會ノ承諾ニ依テ
成立シタルモノニシテ多クハ國會ニ於テ之
ヲ管理セリ

國家ノ政務ハ世ノ開明ニ伴ヒ日一日ヨリ繁
雜ニ赴キ一國ノ需用モ亦遂テ増加ス是レ獨
シニ於テモ亦初メハ臨時收入タリニ若漸
擴張シテ國家ノ經常收入トナルニ至リテ所
以ナリ尤王室財産ニ就テ有ル國君ノ權利

ハ尚依然トシテ國君ノ特權ナリ此ノ沿革ハ
英國ニ於テモ亦同条ノ觀ヲ呈セリ旧時ノ經
常收入ハ今日法律上確定シタル永久ノ諸税
收入トナリ臨時收入ハ國會ハ一年限リ承諾
ヲ与ヘタル少數ノ税ニ過キヌ而シテ今日尚
存在セル世襲收入ノ一部分ハ國王ノ特權中
ニ併合サレタリ

ソドール及スツールト西家ノ時代ニ在リニ
ハ尚國君ノ財産ハ經常ノ國費ヲ負担スル事
ハル中古ノ說ヲ遵守シ王室財産ヲ以テ終身

經常收入ハ遂ニ國家歲入ノ一小部分ヲ為ス
ニ至ラント虽モ王室費ノ外騎士及ヒ公使ノ
俸給并ニ爾來ノ政費モ亦年々國會ノ承諾ヲ
經ルヲ要セスレテ此收入ヲ以テ支弁セリ其
後國家財產（固定資金）ノ設置アリ之ヲ以テ右
等ノ目的ヲ達スルニ至リシカハ時勢漸ク王
室費國費兩者ノ必要ヲ促シ來レリ之ニ
加フルニア^ンナ即位ノ初ニ當リ世襲收入ノ
賣買讓与ヲ（賣）國王ノ終身間ノミナラスヲ
禁止シ而シテ王室費及政費ノ變遷ハ絶エス

王室ノ財政ノシテ困難ナラシメタリ之レケ
ラ^ルセ第三世カ即位ノ初ノ前条（原書第百六
十八頁參考）勅令ヲ發シタル所以ニシテ其
勅令ニ依レテ國王收入ノ大半ハ國會政府ノ
管理及使用ニ任シ國王ハ王室費及王位尊嚴
ノ維持費ノ名義ヲ以テ國家資金中ヨリ定額
ノ支給ヲ仰ケリ而シテゲ^オルセ第三世以降
ハ世襲收入ヲ國家財產ニ編入シ其合併シ
ル國家ノ資金中ヨリ年年定額ノ王室費ヲ支
給シ其後ケ^オルセ第四世ウ^井ルヘルム第四世

及ヒビクトリア諸王登極ノ際何レモ皆右ノ方法ニ倣ヒテ更ニ新勅令ヲ發シ世襲收入ニ漸次全ク國家ノ財産ニ編入シ又他ノ一方ニ於テハ固定ノ國費ト王室費トノ区別ヲ立テ共ニ國家財産ヲ以テ支弁シタリ故ニビクトリア女王ノ王室定額金ニ遂ニ減シテ三十八萬五千磅トナリ其他一万磅ノ附加ノ利金アリ(ビクトリア即位一年ノ條例第二章參考)斯ノ如ク一千七百六十年以降王室ノ王領地山林及尔餘ノ經常收入ニ國會政府ノ管理ニ歸

ミタリト雖トモ之レ即チ爾餘ノ國家收入トハ全ク異ナリ特ニ國王ノ特權ト稱シ國會ノ承諾如何ニ關係ナキ者ニシテ其科目ヲ舉レ

一 則チ左ノ如シ
 一 王位ニ基ク名譽及マノール

二 國王若クハ公共ノ使用ニ供スル宮城及公園

即チサント、ジエームス、バツキンハム、ウヰル、
 ゴルト、カストル、ハンプトン、ゴート、ケンシント
 シ、ホワイトホール、ウエストミニスター、ソール、
 マーストハオス諸官并ニブライントン、ウヰル

シチエススタ：檢ケルニ官及サントジエー
ムス・バオド・バツクシヨート・ブツシロー・ガリン
ニツチ・ハンポトシ・ゴート・リツチモント・ウサ
ンドソル諸公園其他軌道ノ新設：係ルモ
載セテビクトリヤ即位卅五年卅六年ノ条
例第十五章：在リ参照スヘシ

三 山林獵場及荒地ワステス即チウキンドソルフオルス

トリワルザム・ザイン・ヒーヤフオースト・ニエーア
オースト・ウールマ及アリスホールド・ボツキ
ンハム・ウヰグトルルウード・ガルケド・シヤーウ

ドウツナウードニシテ其他尚ホ山林ト
稱スト者少カラスト 屯厩概ネ名称上ニ止マ
ル者

四 國王ノ屬附スル土地及家屋ゲオルヒ第三世

即位廿六年ノ條例第八十七章ヲ以テ發シテ
ル法律：依レハ貴族領地百三十箇野耕地
二万二千スクル家屋其他ノ建造物二十二
百五十軒アリ内一千八百軒ハ龍動及ウエス
トミンスター：存在ス(賃賃料ハ固ヨリ時時
異動アリテ固定ハモトニ非ス)

五國王が無制限封土ノ世襲所有トシテ拂下ケ
タル土地ノ所得

這般財産ハ其未シ國會ノ管理ニ歸セサル間

種々ノ官署ニ於テ之ヲ管理セリ

耕地ハ財産局ノクラーク、オアゼー、パイプ(官

名)於テ其貸下事務ヲ取扱ヒタルハ既ニ太

古ヨリ行ハレタル所ノ制ナリシカ故世ニ至

リテ監督官一名收稅官一名及其屬官ヲ置キテ

之ヲ管理セリ

舊時ノ山林裁判權及トレントノ法ニ依リ徒ニ

國王獵場ニ入りタル者ヲ逮捕シ過料ヲ徵收

ストハ筆ニ虛名ニシテ其實無用ノ冗員ヲ置

クトサカラサリシカ故ニ山林及獵場事務ハ

尙繁雜ヲ免カレサリシ其後經濟的事務ノ為

ニ特ニ山林監督官及其屬官ヲ置キタリ

宮城公園及庭園等ニ就テハ固有ノ官署及吏

員就中特別ノインテングレト(官名)及ジネク

ール(官名)ナラン乎ヲ置キテ之ヲ監督セリ

右何レノ場合ヲ問ハス其純益其管理費ノ為

メニ殆ト消盡シタル者ニ畢竟王室國會雙方

ノ罪：シテ當時管理ノ道ニ一般：其宜ヲ得
ス實：不經濟ノ甚キモノト云フ可シ之レレバ
川^レ第三世カ這般物件ノ全ク不確定ニシテ
且ツ多額ノ國費ヲ負担シタル收入ヲ固定資
金：編入スル：如カストナス所以：シテ爾
來立法部ハ王室財産ノ區域ヲ明カ：シテ其
減少ヲ豫防シ且ツ其管理法ヲシテ簡易ナラ
シメシテ務メタリ
其後屢國會ノ審査ヲ經又數次ノ内閣交渉：
遇ヒ一千八百十年ニ至リテゲオルヒ第三世

即位五十年ノ條例第六十五章ニ依リ土地牧
入官及王室森林官ヲ合併シ又國王ニ旧監督
^{總長}ニ相当セルニ各乃至三名ノ委員ヲ任命
スル權利ヲ托シテ茲ニ初テ官有物及山林事
務ノ一課ヲ設置シ而シテゲオルヒ第四世即
位十年ノ條例第五十章ハ其官制及職制ヲ確
定シタリ之レ則テ現行法ニシテテンカスニ
川及コルニワール西公園中ノ王領地ヲ除ク
ノ外大不列顛愛蘭兩國ニ存在スル國王ノ領
地田畑地^地牧^牧獲^獲山林^{山林}獵場及採薪場ハ都テ

此規定ニ從フモノナリ此法律ニ從シハ凡キ
地所有權ハ永ク國王ノ特權ニ屬シ其收入ノ
固定資金編入ハ國王一己ノ命令ニ基キ命令
ハ之ヲ發シタル國王ノ前御ニ依テ其効力ヲ
失ヒ更ニ新相續者ト規約ヲ設ケ國會ノ議決
ヲ以テ其都度之ヲ改定ス官署ハ一定ノ規則
ヲ奉シテドアーチンツツ及其ノ所得ヲ
賣買譲与スルコトヲ得(市廿四、廿五、廿九、四十条)
土地債附ハ卅一年間家屋ハ九十九年間ヲ限
リテ自由ニ契約スルコトヲ得地所ノ交換及取

得モ亦自由ナリ然レモ山林ハ鐵道布設ノ用
ニ供スル場合ヲ除ク外賣買譲与若クハ債
償スルコトヲ許サズ但シ國王ハ寺院建築墓地
設置ノ為メニ五エーシル若クハ其價格一千
鎊マデノ地所ヲ寄附シ又寺区ノ救貧事務ノ
為メニ五エーシルマテノ山林及荒地ヲ自
由ニ処分スルノ特權ヲ有セリ
爾來此法律ノ追加トシテ桑布シタル單行布
告少カラスト茲ニ多クハ官署ノ組織ニ係ル
者ナリゲオルヒカニ卅四年ノ條例カ

六十五章ニ依リハ其事務官廳ハ二名若シハ
三名ノ委員ヲ以テ組成シビシトリ即位
十四年及十五年ノ條例亦四十二章ニ依リハ
中央監督官一名巡回監督官タル農業経済家
一名ヲ以テ組成ス而シテ勅令ノ定ムルトユ
ロニ從ハハ官有地事務官長ハ往々内閣ノ官
職ヲ兼任スルコトアリト雖モ必ず財宝局ニ
隷屬スル者ナリ
國王ノ諸宮城ハ元來收入ノ目的物ニ非ス亦
重要ナル經常及臨時支出ノ目的物ニモ非ス

カ故ニ前者ト全ク之ヲ分離シテ特別ノ管理
ニ附セリゲオルヒカ三世即位四十六年ノ條
例亦百四十二章ハ宮城及政府ノ諸官舎ノ為
メニ王宮及官舎取締役一名ヲ置キウナルハ
以テカ四世即位二年及三年ノ條例亦一章ハ
之ヲ以テ官有物及山林事務課ニ合併シタリ
ト雖モ其後再ヒ之ヲ分割セリ之レ官有物及
土木ニ關スル官署カ今日大蔵省ノ管轄ニ屬
スル所以ナリ而シテ大蔵省ハ亦前示法律ノ
範圍内ニ於テ命令ノ權ヲ有ス

フユルニストホーニツラルルニ家ノ権利關係ニ
關スル勅令